

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	黒澤 清美	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9010		事務事業名称		医療費適正化特別対策事業					短縮コード		経常		臨時	9010	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	01	総務費		項	04	特別対策事業費		目	01	医療費適正化特別対策事業費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		国民健康保険法								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
診療報酬明細書の点検・柔道整復施術療養費の調査・医療費通知及びジェネリック医薬品普及等により，医療費の適正化を図る。																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	6本の柱（章）	01	第1章健康福祉都市をめざして							
診療報酬明細書（レセプト）のデータ化が進展したことにより、点検業務は大幅な効率化が進んだが、点検チェックシステムの開発は、進んでいないので、点検員による点検の効率化は今後進展の余地がある。柔道整復施術療養費の調査は全国的にも始まったばかりのため，まずは取り組みを継続することが重要となっている。医療費通知は郵送費がかさむため，回数を増やすことが困難な状況にあるので，保険者判断による重点的な通知が可能なシステムの開発が望まれる。ジェネリック医薬品については，国等においても普及促進に向けた取り組みが行われているので，今後は順次普及することが見込まれる。							大項目（節）	03	第3節社会保険							
							中 項 目	01	1. 国民健康保険							
							小項目（施策）	01	(1)財政運営の健全化							
							細 項 目	02	②医療費（給付）の適正化							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	誤った保険請求の診療報酬明細書（レセプト）。 ジェネリックに変更可能な薬剤費請求。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： レセプト点検員による診療報酬明細書の内容点検及び市職員による資格点検等を実施した。 柔道整復施術療養費について，多部位，長期又は頻度が高い施術患者に対して調査を実施し，適正受診の啓発を行う。 医療費通知の実施。 ジェネリック医薬品希望カードの配布（被保険者証更新時及び加入手続き時）。							
	※平成25年度に計画していること： レセプト点検員による診療報酬明細書の内容点検及び市職員による資格点検等を実施する。 柔道整復施術療養費について，多部位，長期又は頻度が高い施術患者に対して調査を実施し，適正受診の啓発を行う。 医療費通知の実施。 ジェネリック医薬品の啓発に加え，ジェネリック医薬品を使用した場合の調剤差額表示を記載した通知を実施する。							
意図 （何を狙っているのか）	レセプトの点検・柔道整復施術療養費の調査・医療費通知などによる医療機関等の請求誤りの縮減による医療費の適正化。 ジェネリック医薬品普及による，薬剤費の削減による医療費の適正化。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	診療報酬明細書（レセプト）	枚	777, 469	810, 000	784, 283	810, 000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	診療報酬明細書（レセプト）の点検数	枚	777, 469	810, 000	784, 283	810, 000	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	被保険者 1 人あたりの財政効果	円	2, 668	2, 670	2, 073	2, 080	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9010	事務事業名称	医療費適正化特別対策事業				所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			重複・頻回受診者の保健師又は看護師による指導や健診結果による受診勧奨などを目的とするデータベースシステムの稼働が予定されているため、有効活用するための取り組みを行う（始める）必要がある。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			レセプト・健診結果・介護給付の情報をまとめて検索できるデータベースシステムの稼働が予定されているため、有効活用するための保健師の人件費と活動費などが必要となる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
医療費の抑制になり，患者の負担軽減にもなるため，ジェネリック医薬品の普及啓発に力を入れてほしいとの要望がある。									

所属長コメント	平成２３年秋に稼働した国保総合システムにより，継続してレセプト点検を行うとともにジェネリック医薬品の普及啓発を通じた医療費の抑制と適正化を図る。また，国保資格の適正化に向け啓発を図って行く。 平成２５年秋から稼働するＫＤＢ（レセプト・介護給付・健診結果等を統合検索するシステム）の有効活用のための準備を始める。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			ジェネリック医薬品の普及啓発のための差額通知実施に向けた準備，及びＫＤＢを有効活用するための準備について関係各課を含めて検討行い，適正化のための積極的な取り組み行うこと。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									